

D E S K
T O P
P U B L I S H I N G

入出力についての お願い

令和2年4月

株式会社和歌山印刷所

WAKAYAMA INSATSU
STUDIO.609

TEL073-451-4111 FAX073-457-2070 CREATIVE·DESIGN

CONTENTS

1.データの入稿パターン	1
2.入力の手順	2
3.データの出力及び訂正の手順	3
4.オペレートする上での注意事項	4
5.ファイル作成準備／Adobe Illustratorについて	4～5
6.PDFについて／フォントについて	6
7.Adobe photoshopについて	7
8.Adobe InDesignについて	8
9.入力依頼時の注意事項	9
10.出力依頼時の注意事項	9

※上記のコンテンツをクリックしていただくと、
各コンテンツ詳細ページが開きます。

1.持込データの入稿パターン

データの入稿パターンは以下の3種類があります。

(1) お客様の完全データで出力するだけのデータ。
(2) 写真のみ先行して当社で分解（スキャン等）したデータをお渡し、それをお客様に貼り込んで頂いたデータ。もしくは、分解した写真データをこちらで貼り込むデータ。
(3) 写真を入れずに組版のみのデータ。

原則的には、(1) または (2) の入稿パターンに関して、出力をさせていただきます。但し、事前に打合わせの上、時間的な余裕を頂ければ (3) の入稿パターンにおいても出力させていただきます。（別途集版代金要）

(1)(2)(3)とも、オペレートの方法により文字化けや外字、特殊加工部分の不具合などデータが正しく反映されないリスクが必ず伴いますので、必ず色校正（DDCP等）もしくは簡易校正でのご確認をお願いいたします。

【完全データに関して】

持込データに不備がなく印刷に適した完全データの場合、基本校正提出はいたしません。ただし、この場合は作成データと別に校了紙（お客様側で最終確認したプリントアウト）または、校了確認用PDFデータが必要となります。

ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせくださいませ。

オペレーターが対応させていただきます。

2.入力の手順

- 写真
- 写真トリミング・レイアウト
- 保存用USB・CD・DVD



(拡大率、色数に応じて)

大日本スクリーン 平面スキャナー SF-C3030PU	大日本スクリーン 平面スキャナー FT-S250
-----------------------------------	--------------------------------



レタッチ

- ・色調補正
- ・ほこり、傷の除去
- ・切り抜き (ご要望に応じて別途料金要)
- ・保存フォーマット形式の変換

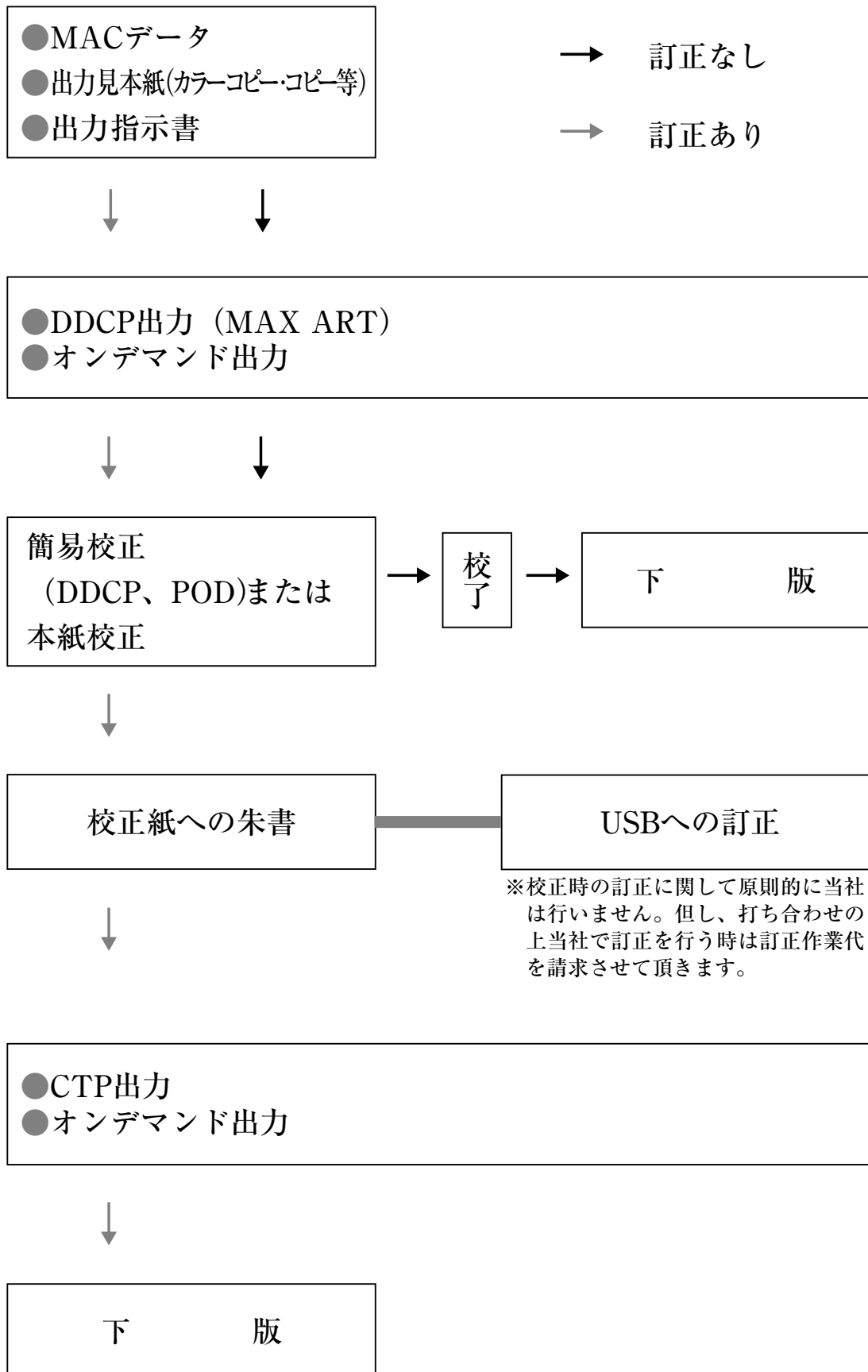


CD・USB等でお渡し
高解像度データ



高解像度データを頂いた
組版データに貼り込む作業

3.データの出力及び訂正の手順



4.オペレートする上での注意事項

組版について

●ファイル作成準備

新しくドキュメントを作成するときは、始めに保存用フォルダを用意し、必要なファイル（画像など様々なデータ）をすべてこのフォルダにコピー及び保存しながら作業して下さい。

●Adobe Illustratorについて

バージョンについて

- ・当社対応バージョンはCC最新ver.まで可能。オブジェクトについて・マスク・パターンを多用したり、複雑な図形に対して複合パスをかけたりすると出力できない事があります。
- ・レイヤー越しにマスクを掛けると、マスクデータが壊れる場合がありますので注意して下さい。（サブレイヤーも同様です）
- ・0.05mm以下の線は、印刷時にかすれる場合があります。また、細かい線にアミをいれるとモアレが発生し、ミシン罫のようになってしまいますので注意して下さい。
- ・レジストレーション色を使用する場合は、スウォッチパレットの設定に注意して下さい。（CMYK100%になっている場合もありますが、スミ1色の場合もある為）また、レジストレーション色を使用してブレンドやグラデーションを掛けると、確認用紙と異なる場合がありますので使用しないでください。
- ・ガイドラインを削除する場合は、必ず選択ツールで選択し削除してください。（ダイレクトツールで選択し1回削除すると、書類の最大寸法の所に孤立点が残し、他のアプリケーションに正しい位置に配置できなくなります）
- ・トンボを作成する時は、必ずフィルタのトリムマークを使用して下さい。（オブジェクトのトリムエリア・トンボを使用すると出力されないトンボが作成されます。）また、トンボの線の設定は0.11mm（0.3pt）をお願いいたします。レジストレーション色を使用する場合は注意して下さい。

書類について

- ・書類（ドキュメント）のカラーモードは、CMYKモードをお願いいたします。RGBは不可。
- ・バージョン9.0以上を使用した場合は、書類設定のプリント・データ書き出しタブの出力解像度を800dpi、ラスタライズ解像度を300ppi、グラデーションメッシュを400ppiに設定し、透明タブの画質／速度スライドを高画質／低速（一番右）に設定してください。
特に透明やドロップシャドウ等の効果を使用した場合に、透明やドロップシャドウ等にかかる文字やオブジェクトが画像になってしまい、上記の設定をおこなっていない場合は、低解

像度の画像になってしまい、文字等がジャギってしまいます。

また、バージョン10.0では、プリント・データ書き出しタブのグラデーションメッシュの解像度を400ppi、透明ダブのラスライズ／ベクトル設定をベクトル（一番右に）に、バージョン11.0以上ではドキュメント情報の透明タブの書き出しとクリップボードにおける分割・統合設定を高解像度にして下さい。オーバープリント（ノセ）について・スミにオーバープリント（ノセ）の設定をした後に、スミ100%以外の色に変更した場合、オーバープリント（ノセ）の設定が残ります。不具合の原因となりますので最後（データ保存直前）にオーバープリント（ノセ）の設定をして下さい。（スミ100%に関してはオーバープリント設定が必要です）また、カラー部分のオーバープリント（ノセ）の設定は、当社では指定がない場合以外、行いませんのでお客様側でお願いいたします。ご了承ください。

フォントについて

- ・全てのフォントをアウトライン化して下さい。（モリサワOCFフォントに関しては対応できませんが、アウトライン後のファイルも添付してください。） 特に、欧文フォントは、同名のフォントが複数存在するため、訂正等がございましたら、可能な限り添付してください。
- ・孤立点になっているテキストや不要なテキストボックスは削除して下さい。
- ・スウォッチに文字を登録しないで下さい。（スウォッチデータを消去しても書類に文字データが残り出力できなくなる為）

画像について

- ・基本的に配置して下さい。透明や効果を使用した際に埋め込みになってしまった場合でも、元データを添付して下さい。（画像が分割されてしまい筋が入る事がある為）

レイヤーについて

- ・必ず出力するレイヤーを表示して下さい。また、サブメニューのレイヤーオプションのプリントのチェックもはずさないで下さい。（レイヤーが非表示になっていたり、プリントにチェックがはいっていない場合は出力されない為）

保存について

- ・イラストレーターEPS、もしくはai形式で保存をお願いします。
必ず、配置した画像を含むにチェックを入れて下さい。（画像ファイルが足りていない時に、抽出が可能な為）
- ・バージョンCS以上では透明欄の設定を高解像度にして下さい。
- ・モリサワ社のオープンタイプやNEW CID、オープンタイプのダイナフォントを使用している場合は、バージョン9.0と10.0ではフォントデータを含む、CS以上では他のアプリケーション用にフォントを埋め込みにチェックをいれて下さい。（当社組版データでRIP演算処理で文字詰めが変わって出力された事例がある為、アウトライン化をお勧めいたします。）

●PDFについて

- ・PDFを作成する時は、PDF/X1-a～X4またはプレス用をお願いいたします。印刷に適した形式以外の簡易スクリーン用や最小ファイルサイズ用だと書類のカラーモードがRGBになり、出力できなかったり、色味が変わる等、トラブルの原因となります。また画像解像度も印刷に適した高解像度でなくなり、粗い画像となってしまいます。ご注意ください。
- ・必ず仕上がりサイズ+四方ヌリタシ3mmになっているかご確認ください。
例) A4サイズの場合、(210mm×297mm) + 各3mm = 216mm×303mmです。

●フォントについて

- ・モリサワのオープンタイプフォント・NEW CIDフォントはすべて対応しています。
- ・OCFリュウミンファミリー、新ゴファミリー、じゅん101、じゅん34、じゅん501、見出しゴシック、見出し明朝、太ゴ、太ミン、中ゴシックはフォント添付がなくても対応できますが、フォントのバージョンの違いにより、字詰めが変わったり旧字や外字など文字化けの可能性もございます。当社での修正作業が不要なデータは必ずアウトライン化してください。お客様自身でデータを修正できないなどの場合は、ご相談ください。打ち合わせのうえ、対応いたします。その場合は別途製作代金が発生いたします。

●Adobe photoshopについて

バージョンについて

- ・当社対応バージョンはCC最新ver.まで可能です。

モードについて

- ・グレースケール、CMYKカラーをお願いします。ダブルトーンを使用し出力すると、スミ（初期設定）と同角度のアミで出力される為、一番大きなモアレが発生しますので使用しないで下さい。また、モノクロ2階調を使用する時は、出来る限りphotoshop epsをお願いします。（tiff形式だとインデザインCS等では出力されない場合があります。）

クリッピングパスについて

- ・切り抜きをする場合に使用するクリッピングパスの数は出来る限り少なくして下さい。また、平滑度は2デバイスピクセルをお願いいたします。
- ・チャンネルについて・アルファチャンネル等のチャンネルはなるべく削除して下さい。

レイヤーについて

- ・必ず統合して下さい。（統合をしていないファイルをイラストレーター等に配置すると出力時に確認用紙と違う結果になる場合があります。）

保存形式について

- ・基本的にphotoshop epsのプレビューがMacintosh(8bit/pixel)、エンコーディングがJPEG-標準画質以上、ハーフトーンスクリーンを含める等のチェックは入れないで下さい。（背景が白の写真を使用する時はJPEG-最高画質（低圧縮率）にして下さい。出力時に数%のアミが白の部分に入る事があります。）また、エンコーディングをバイナリにすると、CS以上では出力されない事があります。
- ・必ず保存形式の拡張子をつけて下さい。（photoshop eps形式の写真にJPEG形式の拡張子が付いているとMac OS Xでは開けない為）

●Adobe InDesignについて

バージョンについて

- ・当社対応バージョンはCC最新ver.まで可能です。

マスターページについて

- ・オーバーライドされたテキストをアウトライン化していても、マスターページにあるテキストはアウトライン化されていない為、マスターページを使用したものは注意して下さい。

カラー・線・レイヤー・属性の設定について

- ・基本的にイラストレーターと同じですので、イラストレーターを参照にして下さい。

特色について

- ・全てCMYKに変換して下さい。特に特色を使用したグラデーションは、出力・PDF変換等をした時に色飛び等の不具合が生じる時があります。

塗り足し・印刷領域について

- ・塗り足しは3mmをお願いいたします。3mm以上のオブジェクトを使用する時は印刷領域幅を増やして下さい。

透明ブレンド領域の設定について

- ・透明ブレンド領域の設定はドキュメントのCMYK領域を使用して下さい。

プリフライト・パッケージについて

- ・プリフライトを使用すると使用した画像等をひとつにまとめられますので、必要なものにチェックをいれ活用して下さい。

5.入力依頼時の注意事項

- 入力倍率を添付して下さい。
- スキヤニングのトリミングを添付して下さい。
- 色調に関する指示がある場合については、サンプルや、できるだけ詳しい指示を添付して下さい。(ex.シャープネス強く、赤かぶりトル等)
- 入力解像度に関して特別な指示のない場合は400dpiで入力いたします。
- 品質が保証できる拡大率は、反射原稿及び、刷取り原稿で150%強です。
- 対応メディアは、USB・CD・DVDに限定いたします。

6.出力依頼時の注意事項

- 入稿（指示）書を記入して下さい。
- 出力見本を添付して下さい。
- 対応フォント、ソフトを確認して下さい。
- 対応メディアは、USB・CD・DVDに限定いたします。